

岡倉天心
生誕150周年 没後100周年 記念



天心

上映会のお知らせ

復興支援映画

竹中直人 平山浩行 木下ほうか 橋本一郎 中村獅童
渡辺裕之 温水洋一 本田博太郎 キタキマユ 神楽坂恵 城之内正明 石黒賢 (友情出演)

脚本：我妻正義・松村克弥 撮影：瀬川龍 美術：池谷仙克 編集：川島章正 音楽：中崎英也
プロデューサー：星加正紀・河本隆・木下裕二 制作：マウンテングートプロダクション 配給：マジックアワー
エグゼクティブ・プロデューサー：宮本昭行・宮本澄江
主題歌：石井竜也 監督：松村克弥

原字 川又南岳 / アートディレクター 藤代純雄



11月7日(土)・8日(日)東京富士美術館・ミュージアムシアター

©2013映画「天心」制作委員会



信じる日本を、その先にある光を

日本の近代美術に大きな足跡を残した岡倉天心の生誕150年・没後100年。

本作品は、明治という時代にあつて日本の美を『再発見』し、新しい美を生み出そうと苦闘する天心とその弟子である若き画家たち——横山大観、下村観山、菱田春草、木村武山——の葛藤と師弟愛の物語です。



©2013映画「天心」製作委員会

「東日本大震災」により六角堂が流失！

撮影準備中の二〇一二年三月

十一日、東日本大震災の大津波により、天心が思索に耽つた北茨城市・五浦海岸にあつた貴重な文化遺産「六角堂」も流失し、海中へと没しました。

主要なロケ地である茨城県は甚大な被害を受け、映画化も危ぶまれましたが、一日も早い復興のシンボルとするため、県内の行政、大学、企業、美術界、市民団体などで構成される映画「天心」実行委員会が立ち上がり、六角堂の再建や当時の姿を忠実に再現した日本美術院オープンセットの建設、ロケへの全面協力などの支援を受け、二〇一二年末に無事撮影が完了しました。

さらに、北茨城市出身の石井竜也さんには、映画「天心」の企画当初から全面協力いただき、主題歌をご提供いただくことになりました。

一〇〇年前に

「クールジャパン」を創つた

男たちの魂の物語

明治初期、廃仏毀釈の嵐が吹き荒れ、寺が焼かれ、仏像が破壊される中、若き天心はフエノ口サと共に伝統ある日本美術の保護に奔走していた。

その後、東京美術学校（現在の東京藝術大学）の校長に就任。横山大観、下村観山、菱田春草ら若き才能の育成に尽力するなど、美術界のエリートコースを歩んでいたが、西洋画派との対立により、辞任に追い込まれる。

天心は、彼を慕う大観ら弟子たちと共に新たな日本画の創造を目指し日本美術院を立ち上げるが、彼らの画法に対する国内での評判は芳しくなく、経営難へと陥ってしまう。新天地を求め、天心は茨城県五浦海岸に六角堂を建立。

その翌年、ここに日本美術院を移転し、大観、春草、観山、木村武山らと移り住み、壮絶な創作活動に没頭して行くのであったが…。



竹中直人(岡倉天心) 中村獅童(横山大観) 平山浩行(菱田春草) 木下ほうか(下村観山)
橋本一郎(木村武山) 温水洋一(狩野芳崖) 渡辺裕之(九鬼男爵) 本田博太郎(船頭)
神楽坂恵(九鬼波津子) キタキマユ(菱田千代) 城之内正明(飛田周山)
大和田健介(岡倉覚三・若き日の天心) 石黒賢(根本記者/友情出演)

11月7日(土)・8日(日)上映①11:00②14:00(上映時間122分)

東京富士美術館・ミュージアムシアター

※先着順、全席自由

※上映参加料は無料。ただし、入館料が必要
お問合せ：☎042-691-4511